

本年度の学校経営

(1) 本校の教育目標

校訓「誠」の精神を支柱に、「いつもにこにこ元気な子」をスローガンに掲げて、次のようなめざすべき子供像をもって本校の教育目標とする。

- ・べんきょうがだいすきな子（確かな学力の育成）
- ・うんどうがだいすきな子（たくましい体力の育成）
- ・ちゅうぶがだいすきな子（心豊かな子の育成）

(2) 経営方針

- ア 学習指導要領を踏まえた教育課程の編成のもと、「確かな学力」を身につけ「生きる力」をもった児童を育てる教育活動を展開する。
- イ ESDプロジェクトを推進し、教材、教科、人、地域との「つながり」や「かわり」を基に、未来に対して責任のある生き方ができる子を育成する。
- ウ 専門職としての自覚をもち、たゆまぬ研修と研究に努め、授業力・指導力の向上を図るとともに、知識・技能・教養を高める。
- エ 運動する機会や時間を確保するとともに、特色ある運動を取り入れながら、楽しみながら柔軟性を高め、体力の増進を図る。
- オ 日本の伝統文化や季節感を大事にし、本物に触れる、体験する活動を充実させ郷土を愛する心を育てる。
- カ 保護者や地域の人々に愛され、信頼される学校、地域とともに歩む学校づくりを教職員一体となって取り組む。

(3) 本年度の重点努力目標

ア べんきょうがだいすきな子を育てる

- ・正しい姿勢や学習用具の正しい使い方を身につけさせるとともに、人の話を共感的に受け止めじっくり考える姿勢を育成する。

- えんぴつの持ち方検定（校長室）
- 三つの耳の話（講話） ○聞き方・発言の指導（話形・授業研究）

- ・基礎・基本の定着を図り知識・技能を活用することができるようにし、「見通し」「振り返り」を大切にされた問題解決的な学習により思考力を育成する。

- 全国学力学習状況調査の結果分析と授業の計画（現職研修）
- 習得・活用の授業（授業研究） ○振り返りカードの研究（研究部）
- 算数「九九」等の検定（校長室）

- ・子供のものの見方や考え方、感じ方の理解に努め、意欲関心を高めたり実践力を育成したりするための時間・場所・ものの整備に努める。

- 授業研究（現職研修） ○集会の時間の確保（毎週木曜日実施）
- 廊下等を利用した学習と生活をつなぐ掲示、活用力を試す教材設置（環境整備） ○ボランティアを活用した図書室の整備（環境整備）
- 職員による読み聞かせ（朝学習）○英語活動実践ゾーン新設（環境整備）
- スーパーサイエンススクール推進事業の応募・実践（授業・行事）

イ うんどうがだいすきな子を育てる

- ・運動に親しみバランスのよい体力を身につけるために、準備運動の方法や種目・教材の開発など、授業改善に努める。

- 体力テストの分析と対策（現職研修）
- 授業研究（現職研修）

- ・集会や長い休憩時間に、運動に親しむことができる遊びや道具の紹介、環境づくりに努める。

- 体育・保健委員会による活動（休み時間を利用した委員会活動）
- 集会の時間の確保（毎週木曜日実施） ○遊具の整備（環境整備）

- ・竹馬、一輪車、縄跳びなどの運動を取り入れ、成果を自覚する場をもつ。

- 体育祭種目の検討（体育祭・集会）
- 竹馬、一輪車の整備（教具）

ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる

- ・本年度行われる悠紀斉田100周年記念行事を核に、100周年記念行事への参加はもとより、中部学区の歴史・伝統・文化を教材化し、学習活動を展開する。

- 悠紀斉田 100 周年記念行事の参加と講話（地域行事・集会）
- 地域交流センター悠紀の里を利用した学習（3年社会科）

- ・地域の人から学ぶ活動や地域の人とともに行う活動と、六ツ美中学校との兄弟学級の交流、校内での異年齢交流を充実し、地域の人と学ぶ活動を重視する。

- 地域教育ボランティアシステムの新設（人的整備）
- 社会科・総合的な学習の地域講師招聘（授業）
- 5年国語学習 俳句協会・作左の会の講師招聘（授業）
- 収穫祭・避難訓練等（保小中交流行事）
- 委員会主催集会における縦割り交流（集会）

- ・地域の自然を見つめたり、自然の中で体験したりする活動を大切にする。

- 田植え・稲刈り体験（2・5年授業）
- スーパーサイエンススクール推進事業の応募・実践（授業・行事）
- 花育・FBC 参加とデザイン募集全校参加（委員会・常時活動）

(4) 目指す教師像

教師としての「専門性」「人間性」「指導性」を自覚し、常に研鑽と修養に努め、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築くとともに、社会の変化に対応でき、保護者、地域から信頼されるプロの教師を目指す。